


電気設備工事特記仕様書		なお、電気主任技術者の立会費用は、下記のとおりとする。 ・受注者負担 ・不要 ・その他（ ）		(2)特別管理産業廃棄物 ・委託器 ・コンデンサ ・その他（ ） 現場内の監督員の指定する場所へ保管するものとする。 なお、施工に際してP C B等特別管理産業廃棄物及び疑わしき機器等を発見した場合は、監督員に報告し対応を協議するものとする。 (3)現場内において再利用を図るもの ・発生土 ・その他（ ）		(3)受注者は暴力団員等により不当介入を受けたことから工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。 36. 電子メールの活用 「電子メールを活用した情報共有における実施要領 令和3年11月」を適用する。 （三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）	
Ⅰ. 工事概要		10. 品質計画 品質計画については、監督員の承諾を受けること		(4)再資源化を図るもの ・コンクリート塊 ・アスファルトコンクリート塊 ・建設発生木材 ・（ ）		37. 主任技術者又は監理技術者 (1)技術者要件 工事現場に配置する主任技術者又は監理技術者は、本工事の入札公告で定める技術者要件を満たす者としなければならない。 (2)専任を要しない期間 1) 現場施工に着手するまでの期間 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約締結後、監督員との打合せにおいて定める。 2) 検査終了後の期間 工事完成後検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日とする。	
1. 工事名称 天神公民館 長寿命化改修工事		11. 測定機器の校正等 試験に使用する計測器類は2年以内の校正証明書（写）又は有効期限内の精度保証書（写）等を提出する。 また、照度計、騒音計、振動レベル計等の特定計量器を用いて計測する場合は、計量法に基づく検定に合格し、かつ検定有効期限内のものを使用する。		(5)水銀使用製品産業廃棄物として取り扱うもの ・蛍光ランプ ・H I Dランプ（高輝度放電ランプ） ・その他（ ） 「水銀廃棄物ガイドライン 第3版」（令和3年3月 環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物規制課）に基づき適切に 処理すること。 (6)発注者へ引き渡すものについては「現場発生品調書」を提出すること。 また、再利用を図るものについても調書を作成し、監督員へ提出すること。 (7)引き渡しを要しないものは、全て横外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、再生資源の利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令に従い適正に処理し、監督員に報告すること。		38. 工事の一時中止 工事の一時中止の取り扱いについては「三重県工事一時中止に係るガイドライン」（平成29年7月三重県土木整備部）による。 三重県建設工事契約書第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間における工事現場の管理に関する基本計画書を発注者に提出し、協議する。 工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。	
2. 工事場所 三重郡川越町大字豊田 3 7 3 - 2		12. 施工計画等 受注者は施工に先立ち、次の書類を提出し監督員と打合せを行う。 なお、書類の作成においては、関連する関係者と十分に調整すること。 ① 総合施工計画書 包含工事の場合は、電気設備工事施工計画書とする。 ② 工種別施工計画書（施工要領書） 各種工種ごとに作成し、停電及び搬入計画書も作成する。 ③ 施工図（プロット図、平面図、展開図、各種詳細図） 主要機器、重量機器、3kg超過吊器具類等については、固定方法、吊り方法等の詳細図を作成し、十分な耐震性能を確保する施工方法を提案すること。 ④ 耐震計算書、幹線計算書等 ⑤ 照度分布図、センサ動作範囲図など		(2)電子納品 (1)工事写真は「営繕工事に係る電子納品マニュアル（デジタル工事写真編）」等に基づき、電子媒体も提出すること。 (2)工事完成図書は「営繕工事に係る電子納品マニュアル（工事完成図書編）」等に基づき、電子媒体も提出すること。		39. 社会保険等未加入対策 (1)適用除外でないにも関わらず社会保険等に未加入である建設業者を下請負人としてはならない。 (2)受注者は、施工体制台帳・再下請通知書・作業員名簿により下請業者が社会保険等に加しているかどうかを確認すること。また、発注者が加入状況を証明する書類の提出又は提示を求めた場合、速やかに対応すること。	
3. 建物概要 ＊＊棟 R C造 2階建 延べ面積 495.80 m ² 用途区分(1)項口		13. 機材等 工事に使用する材料及び機器等については、次の書類を提出する。 ① 使用機材届出書 ② 機器明細図 使用機材届出書に記載のものの他、監督員の指示による。 ③ 各種計算書 設計図書による他、監督員の指示による。 ④ 機材の品質・性能証明 設備図書については、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明資料（「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」（(一社)公共建築協会）による場合は評価書の写し）を監督員に提出する。また、品質が求められる水準以上であれば、県内生産品の優先使用に努め、「みえ・グリーン購入基本方針」に準ずること。 建設資材の調達にあたっては、極力県内の取り扱い業者から購入するよう努めること。 三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用すること。ただし、認定製品が入手できない場合は、監督員との協議による。 (認定製品の品名：) 下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用するよう努めること。 (認定製品の品名：間伐材製工事用バリケード・看板・標示板・)		40. 現場での安全確保（自主施工の原則） (1)受注者は、工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること。 (2)設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。		41. 設計図書の照査 三重県公共工事共通仕様書第1編1章1-1-1-3 2.設計図書の照査に基づく照査を実施すること。また、照査の実施において、契約書第18条第1項1号から5号に該当する事実がない場合についても、その旨を監督員に報告すること。 なお、監督員の請求があった場合は、照査の実施が確認できる資料を提示すること。	
4. 工事項目 下記において●印を付した工事を対象とする。 ●電力設備 ・受変電設備 ・電力貯蔵設備 ・発電設備 ・通信・情報設備 ・中央監視制御設備 ・医療関係設備 ・構内配電線路 ・構内通信線路 ・その他		14. 工事写真 営繕工事写真撮影要領（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（令和5年版））に従い、工事写真を撮影すること。 なお、デジタル工事写真の黒板板情報電子化を行う場合は、「デジタル工事写真の黒板板情報電子化について（令和5年3月1日付け国営建技第14号）」による。		21. 電子納品 (1)工事写真は「営繕工事に係る電子納品マニュアル（デジタル工事写真編）」等に基づき、電子媒体も提出すること。 (2)工事完成図書は「営繕工事に係る電子納品マニュアル（工事完成図書編）」等に基づき、電子媒体も提出すること。		42. 設計図書の照査 三重県公共工事共通仕様書第1編1章1-1-1-3 2.設計図書の照査に基づく照査を実施すること。また、照査の実施において、契約書第18条第1項1号から5号に該当する事実がない場合についても、その旨を監督員に報告すること。 なお、監督員の請求があった場合は、照査の実施が確認できる資料を提示すること。	
Ⅱ. 共通仕様 図面及び特記仕様書に記載されていない事項については下記による。 ・三重県公共工事共通仕様書（令和6年7月改定版） ・三重県建設工事実務必携（令和7年4月1日版） ・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 「公共建築工事標準仕様書」（建築工事編・電気(機械)設備工事編 各令和4年版） 「公共建築改修工事標準仕様書」（建築工事編・電気(機械)設備工事編 各令和4年版） 「公共建築設備工事標準図」（電気設備工事編・機械設備工事編 各令和4年版） ・電気設備に関する技術基準を定める省令（電気設備技術基準） ・電気工事業の業務の適正化に関する法律 ・電気工事法 ・労働安全衛生法 ・消防関連法規（条例・市轄指導要領を含む。） ・電力会社供給約款 ・その他関連法令、関連諸基準		15. 施工条件 監督員及び関係部局と協議調整し決定すること。 (1)施工可能日 ・指定なし ・一部指定あり（振動・騒音等作業、重機搬入等入退場、停電作業等） ●指定あり 指定日（・施設休業日 ●打ち合わせ ・その他（ ）） (2)施工可能時間帯 ・指定なし ・一部指定あり（振動・騒音等作業、重機搬入等入退場、停電作業等） ●指定あり 指定時間（（・）時～（・）時 ●打ち合わせ ・その他（ ）） (3)概成工期 ・適用する（工事期日より（ ）日前） ・適用しない (4)その他（ ）		22. 防火対象物使用開始届出書 書類の作成（電気設備図面の作成及び電気設備に関する部分の記入）を行うこと。		43. 社会保険等未加入対策 (1)適用除外でないにも関わらず社会保険等に未加入である建設業者を下請負人としてはならない。 (2)受注者は、施工体制台帳・再下請通知書・作業員名簿により下請業者が社会保険等に加しているかどうかを確認すること。また、発注者が加入状況を証明する書類の提出又は提示を求めた場合、速やかに対応すること。	
Ⅲ. 一般共通事項 下記の該当する項目を適用する。また、選択する事項は、●印のついたものを適用する。		16. 埋蔵文化財調査 埋蔵文化財の調査が行われる場合は協力すること。 ・試掘調査を実施する（発見された場合、発掘調査等の実施あり） ・発掘調査等の実施あり		23. 消防法関係の手続き (1)消火器に係る消防用設備等設置届出書の作成 ・本工事（ ・建築工事 ・電気設備工事 ・機械設備工事 ） ・別途工事 (2)防火対象物使用開始届出書 書類の作成（電気設備図面の作成及び電気設備に関する部分の記入）を行うこと。		44. 現場での安全確保（自主施工の原則） (1)受注者は、工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること。 (2)設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。	
1. 一般事項 (1)工事の詳細については、本設計図面及び仕様書による他、上記各施工基準に準拠し監督員指示の下に念かつ誠実に施工すること。 (2)設計図面に定められた内容、現場の納まり・取り合い等の不明な点や施工上の困難、不都合、図面上の誤記及び記載漏れ等起因する問題点及び疑義、設計図書のとおりに施工することで将来不具合が発生しうると予想される場合については、その都度、監督員と協議すること。 なお、設計図書のとりの施工であっても使用上の不具合が発生した場合は、協議のうえ改善策を講じること。 (3)他工事との取合いについては予め当該工事関係者間において協議し、円滑な工事進捗に努めること。調整不足による庶民的な仕上がり不備や不具合が発生した場合は、監督員の指示により手直し施工を行うこと。		17. 部分引渡し等 部分引渡し等がある場合は協力すること。 ・部分引渡しあり ・部分使用あり 該当部分（ ） 時期（ ）		24. 不正軽油の使用の禁止 (1)工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材の搬出入車両を含む。）並びに建設機械等の燃料として、不正軽油（地方税法第144条の32（製造等の承認を受ける義務等）の規定に違反する燃料をいう。）を使用してはならない。 (2)受注者は、県が使用燃料の採掘調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また、受注者は下請負者等に同調査に協力するよう管理及び監督しなければならない。 (3)受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかには是正措置を講じなければならない。また、受注者は下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は速やかには是正措置を講じるよう管理及び監督しなければならない。		45. 社会保険等未加入対策 (1)適用除外でないにも関わらず社会保険等に未加入である建設業者を下請負人としてはならない。 (2)受注者は、施工体制台帳・再下請通知書・作業員名簿により下請業者が社会保険等に加しているかどうかを確認すること。また、発注者が加入状況を証明する書類の提出又は提示を求めた場合、速やかに対応すること。	
2. 技術検査 中間技術検査 実施回数（＊）回 実施する段階（＊＊＊）		18. 事故の発生時 工事施工中に事故が発生した場合には直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事事故報告書を監督員が指示する期日までに、監督員に提出しなければならない。 なお、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取調査、検証等に協力すること。		25. 工事用電力、水、その他 (1)本工事に必要な工事用電力、水等の費用は受注者の負担とする。 (2)本工事で新規受電または既設電気回路に接続し、通電した時から工事の範囲の電力料金も本工事に含まれる。また、本受電後、引渡しまでの電気主任技術者の選任及びこれに伴う費用負担も本工事に含まれる。		46. 現場での安全確保（自主施工の原則） (1)受注者は、工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること。 (2)設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。	
3. 火災保険等 三重県建設工事請負契約書第52条第1項の規定により、火災保険、組立保険又はその他の保険等に加えし、その加入証券等を提示しなければならない。 ① 保険の目的物 工事目的物及び工事材料（支給材料を含む） ② 保険の加入期間 工事着手後速やかに加入し、完成引渡しまでの間 ③ 保険金額 原則として請負金額に相当する金額		19. 建設副産物情報交換システムへの登録 請負金額1,000万円以上の工事について、受注者は工事着手前に「再生資源利用計画書」（建設資材の搬入がある場合）及び「再生資源利用促進計画書」（建設副産物の搬出がある場合）を作成し、施工計画書に含めて監督員へ写しを提出するとともに法令等に基づき、再生促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。 また、工事完了後には「再生資源利用実施書」（建設資材の搬入があった場合）及び「再生資源利用促進実施書」（建設副産物の搬出があった場合）をすみやかに作成し、監督員へ写しを提出すること。 なお、各計画書及び実施書の作成等は、J A C I C が運営する「建設副産物情報交換システム」に登録のうえ、行うこと。		26. 不当介入を受けた場合の措置 暴力団員等による不当介入（三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第2条第1項第14号）を受けた場合の措置について (1)受注者は暴力団員等（三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第2条第1項第12号）による不当介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。 (2)(1)により三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかに発注者に報告すること。発注者への報告は必ず文書で行うこと。		47. 社会保険等未加入対策 (1)適用除外でないにも関わらず社会保険等に未加入である建設業者を下請負人としてはならない。 (2)受注者は、施工体制台帳・再下請通知書・作業員名簿により下請業者が社会保険等に加しているかどうかを確認すること。また、発注者が加入状況を証明する書類の提出又は提示を求めた場合、速やかに対応すること。	
4. 足場等 ・別契約の関係受注者（下請け工事の場合は元請け）が定置したものは無償で使用できる。 ・本工事で設置する。 足場を設ける場合には、「手すり先行工法等に関するガイドライン」によるものとし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）第1編第2章2.2.2より足場の種別は以下による。 ・内部足場（・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 ・F種 ・G種） ・外部足場（・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 ・F種） 高さが5m以上の箇所での作業を行う場合、労働安全衛生規則の各規定により使用する要求性能墜落制止用器具はフルハーネス型とし、「墜落制止用器具の規格」（平成31年1月25日厚生労働省告示第11号）によるものとする。		20. 発生材の処理等 ・本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事である。 分別解体等及び特定建設資材の再資源等の実施について適正な措置を講ずることとする。工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難しい場合は、監督員と協議するものとする。 分別解体の方法 ・新築 ・増築 ・修繕 ・模様替 ・解体 ・その他（ ） ・分別解体の方法 ・手作業 手作業 機械作業併用 (1)引き渡しを要するものは下記のとおりとし、それ以外は別途監督員の指示による。（ ）		27. 設計図書の照査 三重県公共工事共通仕様書第1編1章1-1-1-3 2.設計図書の照査に基づく照査を実施すること。また、照査の実施において、契約書第18条第1項1号から5号に該当する事実がない場合についても、その旨を監督員に報告すること。 なお、監督員の請求があった場合は、照査の実施が確認できる資料を提示すること。		48. 現場での安全確保（自主施工の原則） (1)受注者は、工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること。 (2)設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。	
5. 三重県産業廃棄物税 本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には、完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に、別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書添付して、当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。 なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表（マニフェストの数量の集計）を超えて請求することはできない。		28. 事故の発生時 工事施工中に事故が発生した場合には直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事事故報告書を監督員が指示する期日までに、監督員に提出しなければならない。 なお、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取調査、検証等に協力すること。		28. 製品確認 発注者及び受注者の協議により仕様を決定し、製作するような規格品でない製品並びに監督員が指定する製品については、試験及び検査等を行う機器が整備された施設内において、監督員等が製品の確認をするものとする。		49. 現場での安全確保（自主施工の原則） (1)受注者は、工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること。 (2)設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。	
6. 電気工作物の種類 ●一般電気工作物 ・自家用電気工作物		29. 機材等の検査及び試験 検査及び試験を行うべき機材等は、設計図書によるほか、監督員の指示による。		29. 機材等の検査及び試験 検査及び試験を行うべき機材等は、設計図書によるほか、監督員の指示による。		50. 現場での安全確保（自主施工の原則） (1)受注者は、工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること。 (2)設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。	
7. 電気工事士 電気工事士法の区分により施工するものとし、契約電力が500kW以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工するものとする。		30. 完成確認及び完成検査時等の電源確保 機器の動作確認、電圧、極性、相回転等確認できるように電源を確保すること。		30. 完成確認及び完成検査時等の電源確保 機器の動作確認、電圧、極性、相回転等確認できるように電源を確保すること。		51. 現場での安全確保（自主施工の原則） (1)受注者は、工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること。 (2)設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。	
8. 電気工事業の業務の適正化に関する法律 電気工事の施工場所ごとに、その見やすい場所に、氏名又は名称、登録番号その他の経済産業省令で定める事項を記載した標識を掲げなければならない。		31. 完成時の操作説明 総合盤等操作に必要な機器については、使用開始前に操作説明を行うものとする。また、必要に応じて操作説明書、操作注意事項書を作成し、機側に備えるものとする。		31. 完成時の操作説明 総合盤等操作に必要な機器については、使用開始前に操作説明を行うものとする。また、必要に応じて操作説明書、操作注意事項書を作成し、機側に備えるものとする。		52. 現場での安全確保（自主施工の原則） (1)受注者は、工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること。 (2)設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。	
9. 電気保安技術者 電気工作物に係る工事は電気保安技術者を配置し、工事期間中の電気工作物の保安業務を行う。 また、電気主任技術者が選任されている施設においては、電気主任技術者に工事内容の説明を行い、工事の調整にあたる指導を受けるものとする。		32. 不正軽油の使用の禁止 (1)工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材の搬出入車両を含む。）並びに建設機械等の燃料として、不正軽油（地方税法第144条の32（製造等の承認を受ける義務等）の規定に違反する燃料をいう。）を使用してはならない。 (2)受注者は、県が使用燃料の採掘調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また、受注者は下請負者等に同調査に協力するよう管理及び監督しなければならない。 (3)受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかには是正措置を講じなければならない。また、受注者は下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は速やかには是正措置を講じるよう管理及び監督しなければならない。		32. 不正軽油の使用の禁止 (1)工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材の搬出入車両を含む。）並びに建設機械等の燃料として、不正軽油（地方税法第144条の32（製造等の承認を受ける義務等）の規定に違反する燃料をいう。）を使用してはならない。 (2)受注者は、県が使用燃料の採掘調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また、受注者は下請負者等に同調査に協力するよう管理及び監督しなければならない。 (3)受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかには是正措置を講じなければならない。また、受注者は下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は速やかには是正措置を講じるよう管理及び監督しなければならない。		53. 現場での安全確保（自主施工の原則） (1)受注者は、工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること。 (2)設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。	

備考				<div><div><div></div></div><div>(株)田端隆建築設計</div><div>三重県知事登録第1－861 一般建築士 No.352551 田端 進也</div></div>	設計代表者		設計担当者				SCALE		工事名称 天神公民館 長寿命化改修工事	E-01	
					一般建築士 No.352551 田端進也		一般建築士 No.352551 田端進也			A3		図面名称 電気設備工事 特記仕様書（1）			原図：A3
										DATE					
										R 6, 9					

<p>12. 予備配管等</p> <p>(1)埋込型分電盤からの立上り予備配管は、予備回路が4回路以下は（P F 2 2）を1本、5回路以上は（P F 2 2）を2本施工する。スラブ天井の場合は、天井又は梁下2 0 0 mmまで立上げ、位置ボックスを取付ける。また、二重天井の場合は、天井まで立上げ、位置ボックスを取付ける。</p> <p>(2)防犯主装置、自動火災報知受信機、MDF、警報盤等の間に移移のための空配管を行う。</p> <p>13. 金属製電線管等の塗装</p> <p>(1)露出配管、露出ボックス、鋼製プルボックス等のうち下記の部分には、塗装を施す。</p> <p>1) 屋外、屋内（電気室、機械室、E P S、居室、廊下）、その他建築意匠上必要な箇所。</p> <p>2) 図面に特記なき場合は、溶融亜鉛メッキ鋼材製のボウル及びアームは塗装しなくてもよい。ただし、図面に指示がある場合はその指示による。</p> <p>3) 湿気、水気のある場所及びコンクリート埋込みの金属製位置ボックスの内面には絶縁性防錆塗料を十分に塗布すること。（監督員が指示した場所は除く。）</p> <p>4) 仮枠貫通部の金属配管には錆止め塗装を施すこと。</p> <p>(2)塗装はエッチングプライマー1種の下地処理のうえ、監督員の指定する色にて調合ペイント2回塗りとする。ただし、指定場所及びその他建築意匠上、必要な箇所の露出プルボックスは指定色焼付塗装とする。</p> <p>14. 導入線</p> <p>導線を行わない配管及び配線引抜き後に空となった配管には、導入線（φ1.2mm以上の樹脂被覆鉄線等）を挿入する。ただし、長さ1m以下の部分は省略することができる。</p> <p>15. 予備スリーブ</p> <p>梁下に配管・配線スペースがない梁には、1スパンに2本程度を予備スリーブとして埋込む。</p> <p>なお、防火区画貫通スリーブは、防火区画処理を行うこと。</p> <p>16. ボックス類</p> <p>位置ボックス及びジョイントボックス類は、特記なき場合、原則として金属製とする。</p> <p>17. 軽量間仕切のボックス</p> <p>軽量間仕切に位置ボックスを固定する場合は、ボルト等により堅固に固定する。</p> <p>18. プルボックス</p> <p>(1)屋外形、特殊な形状又は一辺が8 0 0 mm以上のものは、製作図を提出すること。</p> <p>(2)屋外形プルボックスはボックス内に支持ボルトが突出しない構造とし、取付部にはコーキングを行う。</p> <p>19. ボルト・ナット類</p> <p>屋外に使用する支持金物及びボルト、ナット類で特記のないものは</p> <p>●ステンレス ●溶融亜鉛メッキ仕上げ</p> <p>環境に配慮した電線類の採用</p> <p>電線、ケーブル及び通信線はEM（エコマテリアル）ケーブルを使用すること。</p> <p>21. ケーブル及び配線</p> <p>(1)表示</p> <p>下記の箇所で、ケーブル等に行き先等表示札（ケーブル種別及びサイズ、行き先、施工年、用途、施工者名等を表示。）を取り付ける。</p> <p>① ケーブルがスラブを貫通する部分</p> <p>② ケーブル分岐部分</p> <p>③ 変電所内のケーブル引出し部分</p> <p>④ 盤内及び接地端子箱の外部配線引込み部分</p> <p>⑤ 屋内の直線部分は、3 0 cmごと</p> <p>⑥ プルボックス内</p> <p>⑦ 屋外の共同溝等の直線部分は、5 0 cmごと</p> <p>⑧ 屋外の地中管路より建物内への引込み部分</p> <p>⑨ マンホール及びハンドホールごと</p> <p>(2)ケーブル余長</p> <p>1) 地中線式の場合、マンホール、ハンドホール内でケーブル余長を見込む箇所数</p> <p>・2箇所 ・4箇所 ・()箇所</p> <p>2) 架空線式の場合、電柱上でケーブル余長を見込む箇所数</p> <p>・2箇所 ・4箇所 ・()箇所</p> <p>22. 配線器具の設置</p> <p>(1)特殊コンセントはプラグ付とする。</p> <p>(2)電源の種類により色を区別する。</p> <p>(3)公共住宅の住戸部分に設置するスイッチ・コンセントは原則として表示付とし、特記なきスイッチはワイドスイッチとする。</p> <p>(4)配線器具を取り付ける場所が金属の場合は、絶縁棒を使用する。</p> <p>(5)プレートは、図面に特記なき場合、新金属製とする。</p> <p>(6)カバープレートは、原則として新金属製とする。</p> <p>なお、器具を塗装しない位置ボックスには用途表示をすること。</p> <p>(7)フロアプレートは、水平高低調整型（空転防止リング付）とする。</p> <p>23. 照明器具の設置</p> <p>(1)照明器具を設置する前に、照度分布図を作成し監督員の承諾を得ること。</p> <p>(2)照明器具取付完了後、照度測定を行う。照度計は一般形A A級とする。</p> <p>(3)天井下地利より支持をする場合は、ワイヤ等により脱落防止の措置を行う。</p> <p>(4)パイプ吊りの照明器具は振れ止めを施工する。</p> <p>24. 照明改修の際の測定</p> <p>対象室の改修前後の照度及び回路電流値の測定を次のとおり行うこと。</p> <p>測定箇所 (** * *) 測定回数 前後各 (*) 回</p> <p>25. 分電盤、制御盤、キュービクル等</p> <p>(1)図面ホルダー内には、完成図及び回路の行き先がわかる図面を備える。また、既設分電盤・制御盤等を改造した場合は、図面を修正するものとする。</p> <p>26. 受変電設備、発電設備の設置場所</p> <p>(1)保守点検、防火上有効な空間、維持管理の空間を考慮する。</p> <p>(2)屋内に設置する場合は、床の強度計算書、換気計算書等を監督員に提出する。</p> <p>(3)屋外に設置する場合は、機器及び基礎の質量を求め、地盤の許容地耐力を確認し、結果を監督員に提出する。</p> <p>なお、地盤改良を行う場合は、工法について監督員と協議する。</p> <p>(4)基礎の高さは周囲の状況を考慮する。</p> <p>(5)電気室には水管、蒸気管、ガス管、ダクト等を通過させない。</p> <p>27. 発電設備の燃料配管</p> <p>(1)フレキシブルジョイント取付位置は、施工前に所轄の消防署と十分に打合せを行う。</p> <p>(2)配管の接続は、機器の取外し又は保守点検を考慮し施工する。</p> <p>28. 非常放送設備のスピーカ設置</p> <p>(1)放送区域の各部からスピーカまでの水平距離は1 0 m以内とする。</p> <p>(2)階段等にスピーカを設置する場合は、垂直距離1 5 m以内とする。</p>	<p>(3)増幅器からスピーカまでの配線及び非常電話の配線は、各系統ごとに独立させ、共通線方式は用いない。</p> <p>29. 土工事</p> <p>(1)埋戻しの材料及び工法</p> <p>・B種 (材料：根切り土の中の良質土 / 工法：機器による締固め)</p> <p>・その他 ()</p> <p>ただし、配管周りの埋戻し材料は山砂とする。</p> <p>(2)特記なき地中埋設配管の深さは、G L—6 0 0 mm以上とする。</p> <p>(3)根切りの種類は、マンホール、ハンドホール、屋外受変電設備及び自家発電装置の基礎等は総掘り、埋設管路等は布掘り、外灯基礎、電柱等はつば掘りとする。</p> <p>(4)機械掘削は根切り底を乱さないようにする。</p> <p>(5)建設発生土の処理</p> <p>・構内敷ならし ・処分地指定 ()</p> <p>・処分地未定につき相互協議する。暫定運搬距離 () km</p> <p>30. ハンドホール、マンホール</p> <p>高さ9 0 0 mmを超えるものには、タラップ付とする。</p> <p>なお、タラップの取付は4 5 0 mm間隔以内とする。</p> <p>31. 地中配線路の表示杭</p> <p>下記の箇所に、地中配線路の表示杭を設置する。</p> <p>① 建物への引込口及び送出口付近</p> <p>② マンホール・ハンドホール付近</p> <p>③ 地中線路の曲折箇所</p> <p>④ 道路横断箇所</p> <p>⑤ 直線部分では3 0 m程度に1個 (3 0 mに満たない部分はその間に1個)</p>	<p>(2)雷サージ保護</p> <p>1) 耐雷トランス ・設置 (・単相用 ・動力用) ・設置しない</p> <p>2) S P D ・低圧用 (・クラスⅠ ・クラスⅡ)</p> <p>・通信用 (・カテゴリC 2 ・カテゴリD 1)</p> <p>3) S P Dの性能仕様は別図による</p> <p>1) 低圧用S P Dに使用する配線用遮断器は警報接点付とする。</p> <p>2) 主幹機器の2次側に設ける場合の配線用遮断器は、定格遮断容量5 k A以上とする。</p> <p>電話回線、制御回線などの通信回線に侵入するおそれがある場合は、雷サージから機器を保護するため通信用S P Dを設置する。</p> <p>(3)電源回路保護</p> <p>(4)通信回線保護</p> <p>4. 接地設備</p> <p>(1)接地工事</p> <p>(2)接地抵抗測定</p> <p>2) 測定回数 ・3回 ・()回</p> <p>(3)接地極埋設標</p> <p>【受変電設備】</p> <p>5. 受変電設備</p> <p>(1)既設との取り合い</p> <p>(2)機器類</p> <p>(3)盤類</p> <p>1) 形式 ・キュービクル式配電盤 (J I S C 4620)</p> <p>・高圧スイッチギア (J E M 1425) (・C W ・C W ・P W ・M W)</p> <p>・開放形配電盤 ・その他 ()</p> <p>2) 中通路 ・有 ・無</p> <p>3) 特記事項 ()</p> <p>(4)交流遮断器</p> <p>真空遮断器 (V C B)</p> <p>①操作方式 ・手動ばね操作 ・電動ばね操作 ・電磁操作</p> <p>②引外し方式 ・電流引外し ・コンデンサ引外し ・直流電圧引外し</p> <p>1) 形式 ・3極単操作 ・単極単操作 (避雷器用に限る)</p> <p>2) 操作方式 ・遠方手動操作 ・フック棒操作 (避雷器用に限る)</p> <p>1) 形式 ・配電盤用 ・引込柱用 ・地中引込用</p> <p>2) 配電盤用</p> <p>①操作方式 ・フック棒操作 ・遠方手動操作 ・電動操作</p> <p>②限流ヒューズ ・有 (ストライカ付き) ・無</p> <p>③引外し装置 ・ストライカ引外し ・電圧引外し ・無</p> <p>①本体及び制御箱の材質 ・ステンレス製 ・鋼製</p> <p>2) 保護装置 過電流遮断トリップ付地絡方向継電器とし、制御電源用変圧器内蔵とする</p> <p>③避雷器 ・内蔵 ・無</p> <p>4) 地中引込用 保護装置は、過電流遮断トリップ付地絡方向継電器とし、制御電源用変圧器内蔵とする</p> <p>1) 形式 ・油入 ・モールド</p> <p>2) 設置方式 ・屋外型 ・屋内型</p> <p>3) ダイアル温度計 ・有 (・最大値指針 有 ・最大値指針 無) ・無</p> <p>油入5 0 0 k V A以上、モールド1 5 0 k V A以上の場合は必須とする</p> <p>1) 絶縁方式 ・油入 ・モールド ・ガス入</p> <p>2) その他</p> <p>①内部異常を検知して動作する保護接点を設けること</p> <p>②放電装置を附属又は内蔵すること</p> <p>1) 絶縁方式 ・油入 ・モールド</p> <p>2) 容量 ・6 % ・1 3 %</p> <p>3) その他 内部異常を検知して動作する警報接点を設けること</p> <p>1) 銘板には、公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。</p> <p>2) 図面ホルダーは、A 4サイズ以上（キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。）とする。</p> <p>3) 表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。</p> <p>4) 接地用端子又は接地線用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。</p> <p>5) 絶縁抵抗測定用接地端子は盤内の作業のしやすい場所に設ける。</p> <p>6) 配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。</p> <p>(1)基礎</p> <p>(2)配線ピット及び蓋</p> <p>(3)設置場所</p> <p>【電力貯蔵設備】</p> <p>6. 直流電源設備</p> <p>(1)用途</p> <p>(2)容量</p> <p>(3)整流装置</p> <p>(4)蓄電池</p> <p>1) 種類 ・鉛蓄電池 (・H S ・M S E ・長寿命形M S E)</p> <p>・アルカリ蓄電池 (・A H ・A M H)</p> <p>・その他 ()</p> <p>2) 最低蓄電池温度 ・5℃ ・15℃ ・25℃ ・-5℃ ・()℃</p> <p>7. 交流無停電電源設備</p> <p>(1)用途</p> <p>(2)容量</p> <p>(3)給電方式</p> <p>(4)整流装置等</p> <p>(5)蓄電池</p> <p>1) 種類 ・鉛蓄電池 (・H S ・M S E ・長寿命形M S E)</p> <p>・アルカリ蓄電池 (・A H ・A M H)</p> <p>・その他 ()</p> <p>2) 最低蓄電池温度 ・5℃ ・15℃ ・25℃ ・-5℃ ・()℃</p> <p>停電補償時間 ()</p> <p>・仕様詳細は別</p>
---	--	---

備 考		<div> (株)田端隆建築設計</div> <div>三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.352551 田端 進也</div>	設計代表者		設計担当者				SCALE		工事名称 天神公民館 長寿命化改修工事	E-02
			一級建築士 No.352551 田端進也		一級建築士 No.352551 田端進也				A3			
									DATE			
									R6,9			
										図面名称 電気設備工事 特記仕様書（2）	原図：A3	

<div><div>16. 拡声設備</div><div>(1) 機器</div><div>・増幅器 ・付属機器 ・操作装置 ・スピーカ ・その他 ()</div><div>(2) 増幅器</div><div>・非常放送兼用 (仕様は非常放送装置を参照)</div><div>・専用 出力 () W</div><div>(3) 付属機器</div><div>・出カインピーダンス ・Lo形 ・Hi形</div><div>・オーディオミキサー ・リコモニマイク ・電源制御器</div><div>・録音再生装置 (・CD ・メモリアーディオ ・その他 ())</div><div>・フアウンズレコーダ (・チャイム ・独自メッセージ ・プログラムタイマ)</div><div>・その他 ()</div><div>・有線マイクロホン</div><div>・無線マイクロホン (・電波式 (・アナログ ・デジタル) ・赤外線式)</div><div>・ラジオチューナー (・FM ・AM ・その他 ())</div><div>・スピーカ切替装置 ・その他の機器 ()</div><div>・卓型 ・キャビネットラック型 ・壁掛型 ・その他 ()</div><div>(4) 操作装置</div><div>・非常放送兼用 (仕様は非常放送装置を参照)</div><div>(5) スピーカ</div><div>・専用 結線 ・1W ・3W () W</div><div>・インピーダンス ・Lo形 ・Hi形</div><div>・設置場所 ・屋内 ・屋外 ・その他 ()</div></div> <div><div>17. 誘導支援設備</div><div>(1) 設備</div><div>(2) 音声誘導装置</div><div>・音声誘導装置 ・インターホン ・トイレ等呼出装置</div><div>1) 検出方式 ・磁気式 ・無線式 ・画像認識式 ・その他 ()</div><div>2) 設置場所 ・屋外 (防雨形) ・屋内</div><div>3) 機能</div><div>・自動火災報知設備より火災報知信号を受信した場合停止する</div><div>・タイムスケジュールにより停止及び開始を可能とする</div><div>・その他 ()</div><div>4) 機器</div><div>・制御装置 ・送信機 ・受信機 ・その他 ()</div><div>5) 制御装置</div><div>・壁掛型 ・卓上形 ・複合盤組込 ・その他 ()</div><div>6) 送信機</div><div>・壁掛形 ・卓上形 ・埋込形 ・その他 ()</div><div>7) 受信機</div><div>・スピーカ式 ・イヤホン式 ・その他 ()</div><div>1) 用途 ・内部受付用 ・外部受付用 ・夜間訪問用 ・身体障害者用</div><div>・保守用 ・その他 ()</div><div>2) 機能</div><div>・音声通話 ・映像モニタ</div><div>3) 通話網</div><div>・親子式 ・相互式 ・複合式</div><div>4) 通話方式</div><div>・同時通話式 ・交互通話式 ・その他 ()</div><div>5) 機器</div><div>・親機 ・子機 ・その他 ()</div><div>6) 親機</div><div>①形状</div><div>・壁掛型 ・卓上形 ・複合盤組込 ・その他 ()</div><div>②送受話器</div><div>・電話機形 ・マイク形 ・その他 ()</div><div>7) 子機</div><div>①形状</div><div>・壁掛型 ・卓上形 ・埋込形 ・その他 ()</div><div>②送受話器</div><div>・電話機形 ・マイク形 ・その他 ()</div><div>1) 用途</div><div>・トイレ呼出 ・受付呼出 ・非常通報</div><div>・その他 ()</div><div>2) 機器</div><div>・親機 ・呼出スイッチ ・警報装置 ・その他 ()</div><div>3) 親機</div><div>・壁掛型 ・卓上型 ・複合盤組込 ・その他 ()</div><div>4) 呼出スイッチ</div><div>・押ボタン式 ・引紐式 ・その他 ()</div><div>5) 警報装置</div><div>・光 ・音声 ・ブザー ・ベル ・その他 ()</div></div> <div><div>(3) インターホン</div><div>1) 用途</div><div>・内部受付用 ・外部受付用 ・夜間訪問用 ・身体障害者用</div><div>・保守用 ・その他 ()</div><div>2) 機能</div><div>・音声通話 ・映像モニタ</div><div>3) 通話網</div><div>・親子式 ・相互式 ・複合式</div><div>4) 通話方式</div><div>・同時通話式 ・交互通話式 ・その他 ()</div><div>5) 機器</div><div>・親機 ・子機 ・その他 ()</div><div>6) 親機</div><div>①形状</div><div>・壁掛型 ・卓上形 ・複合盤組込 ・その他 ()</div><div>②送受話器</div><div>・電話機形 ・マイク形 ・その他 ()</div><div>7) 子機</div><div>①形状</div><div>・壁掛型 ・卓上形 ・埋込形 ・その他 ()</div><div>②送受話器</div><div>・電話機形 ・マイク形 ・その他 ()</div><div>1) 用途</div><div>・トイレ呼出 ・受付呼出 ・非常通報</div><div>・その他 ()</div><div>2) 機器</div><div>・親機 ・呼出スイッチ ・警報装置 ・その他 ()</div><div>3) 親機</div><div>・壁掛型 ・卓上型 ・複合盤組込 ・その他 ()</div><div>4) 呼出スイッチ</div><div>・押ボタン式 ・引紐式 ・その他 ()</div><div>5) 警報装置</div><div>・光 ・音声 ・ブザー ・ベル ・その他 ()</div></div> <div><div>(4) トイレ等呼出装置</div><div>1) 用途</div><div>・トイレ呼出 ・受付呼出 ・非常通報</div><div>・その他 ()</div><div>2) 機器</div><div>・親機 ・呼出スイッチ ・警報装置 ・その他 ()</div><div>3) 親機</div><div>・壁掛型 ・卓上型 ・複合盤組込 ・その他 ()</div><div>4) 呼出スイッチ</div><div>・押ボタン式 ・引紐式 ・その他 ()</div><div>5) 警報装置</div><div>・光 ・音声 ・ブザー ・ベル ・その他 ()</div></div>
--

18. テレビ共同受信設備

(1) 受信放送

(2) 機器

・UHF ・BS ・CS ・FM ・CATV ・その他 ()

●増幅器 ・混合器 ・分波器 ・分岐器 ・分配器 ●機器収容箱

・アンテナ ・その他 ()

1) 放送

・UHF ・BS ・CS ・FM ・その他 ()

2) マスト

・地上波用 (・壁面取付 ・自立 ・既設利用)

・衛星用 (・壁面取付 ・自立 ・既設利用)

・その他 ()

3) 自立用基礎

・本工事 ・別途工事 ・既設利用

・その他 ()

19. 監視カメラ設備

・仕様詳細は別図による。

20. 駐車場管制設備

・仕様詳細は別図による。

21. 防犯・入退室管理設備

・仕様詳細は別図による。

22. 自動火災報知設備

(1) 機器

・受信機 ・副受信機 (表示装置) ・中継器 ・発信機 ・感知器

・光警報装置 ・その他 ()

(2) 受信機

1) 型式

・P型1級 ・P型2級 ・P型

2) 回線数

・ () 回線 () アドレス

3) 試験機能

・自動試験機能 ・遠隔試験機能

4) 盤形式

・複合盤組込 ・自立型 ・壁掛型

・その他 ()

(3) 副受信機 (表示装置)

1) 盤形式

・自立型 ・壁掛型 ・その他 ()

2) 回線数

・ () 回線 () アドレス

3) 表示装置の仕様詳細は別図による。

試験機能

・自動試験機能 ・遠隔試験機能

1) 型式

・アドレス付 ・P型1級 ・P型2級

2) 消火栓ポンプ起動

・特記なき場合は、発信機連動方式とし、発信機表

・面に「消火栓起動」等の文字を併記する。

3) 設置

・単独設置 ・機器収容箱に組込

・消火栓ボックス (別途) に組込 ・その他 ()

(6) 感知器

1) 型式

・アドレス付 ・一般型

2) 種類

・熱感知器 ・空気管式 ・煙感知器 ・炎感知器

3) 試験機能

・自動試験機能 ・遠隔試験機能

4) 機器仕様

・一般 ・防水 ・防爆 ・防食 ・その他 ()

(7) 光警報装置

2) 警報装置

・天井付 ・壁付

3) 同期装置

・自走同期式 ・外部同期式

23. 自動閉鎖設備

(1) 機器

・運動制御器 ・感知器 ・自動閉鎖装置 ・自動開錠装置

・その他 ()

(2) 運動制御器

1) 制御対象

・防火戸 ・防火シャッター ・防排煙ダンパー

・非常口等の扉 ・その他 ()

2) 回線数

・ () 回線 (遠方復帰機構 () 回路)

3) 設置

・単独 (・壁掛形 ・自立形) ・火災受信機等との複合盤

1) 型式

・アドレス付 ・一般型

2) 種類

・煙感知器 (・2種 ・3種)

3) 試験機能

・自動試験機能 ・遠隔試験機能

4) 機器仕様

・一般 ・防水 ・防爆 ・防食 ・その他 ()

1) 方式

・磁気式 ・ラッチ式 ・その他 ()

2) 施工

・本工事 (・建築工事 ・電気設備工事) ・別途工事

・既設利用 ・その他 ()

(5) 自動開錠装置

1) 方式

・磁気式 ・ラッチ式 ・その他 ()

2) 施工

・本工事 (・建築工事 ・電気設備工事) ・別途工事

・既設利用 ・その他 ()

24. 非常警報設備

(1) 設備

(2) 非常放送装置

・非常放送装置 ・非常ベル

1) 消防法基準適合マーク品とする。

2) 機器

・増幅器 ・スピーカ ・非常用リコモニマイク

・その他 ()

3) 増幅器

①出力 () W

②出カインピーダンス ・Lo形 ・Hi形

③形式

・ロングラック型 ・スタンダードラック型 ・壁掛型

・その他 ()

④機能

・マイク放送 ・運動放送 (・自火報設備 ・緊急地震速報設備)

・その他 ()

⑤用途

・拡声設備兼用 ・非常放送専用

4) スピーカ

①結線

・1W ・3W () W

②インピーダンス ・Lo形 ・Hi形

③設置場所

・屋内 ・屋外 ・その他 ()

④用途

・拡声設備兼用 ・非常放送専用

5) 非常用リコモニマイク

・型式

・壁掛形 ・ラック収納形 ・卓上形 ・その他 ()

1) 機器

・起動装置 ・非常ベル ・表示灯 ・その他 ()

2) 設置

・単独設置 ・機器収容箱に組込

・消火栓ボックス (別途) に組込 ・その他 ()

(3) 非常ベル (自動サインを含む)

2) 設置

・単独設置 ・機器収容箱に組込

・消火栓ボックス (別途) に組込 ・その他 ()

25. ガス漏れ火災警報設備

(1) 機器

・受信機 ・副受信機 ・中継器 ・検知器 ・警報器

・その他 ()

(2) 受信機

1) 回線数

・ () 回線

2) 種類

・都市ガス用 ・液化石油ガス用

・単独 (・壁掛形 ・自立形) ・火災受信機等との複合盤

・その他 ()

3) 設置

・単独 (・壁掛形 ・自立形) ・火災受信機等との複合盤

・その他 ()

(4) 検知器

1) 動作

・単独 (単独動作) ・連動 (受信機に伝送)

2) 定格電圧

・AC 100V ・DC 24V (受信機等から供給)

・その他 ()

3) ガス検知出力信号

・有電圧出力方式 ・無電圧接点方式

・仕様詳細は別紙による。

【中央監視制御設備】

・仕様詳細は別紙による。

【医療関係設備】

・仕様詳細は別紙による。

【構内配電線路】

26. 構内配電線路

(1) 配線方式

・地中線式 (・直埋 ・管路) ・架空線式 (・直接 ・ちょう架線添架)

・建築物等添架式 (・露出配管 ・隠蔽配管 ・その他 ())

・その他 ()

(2) 建柱

1) 施工

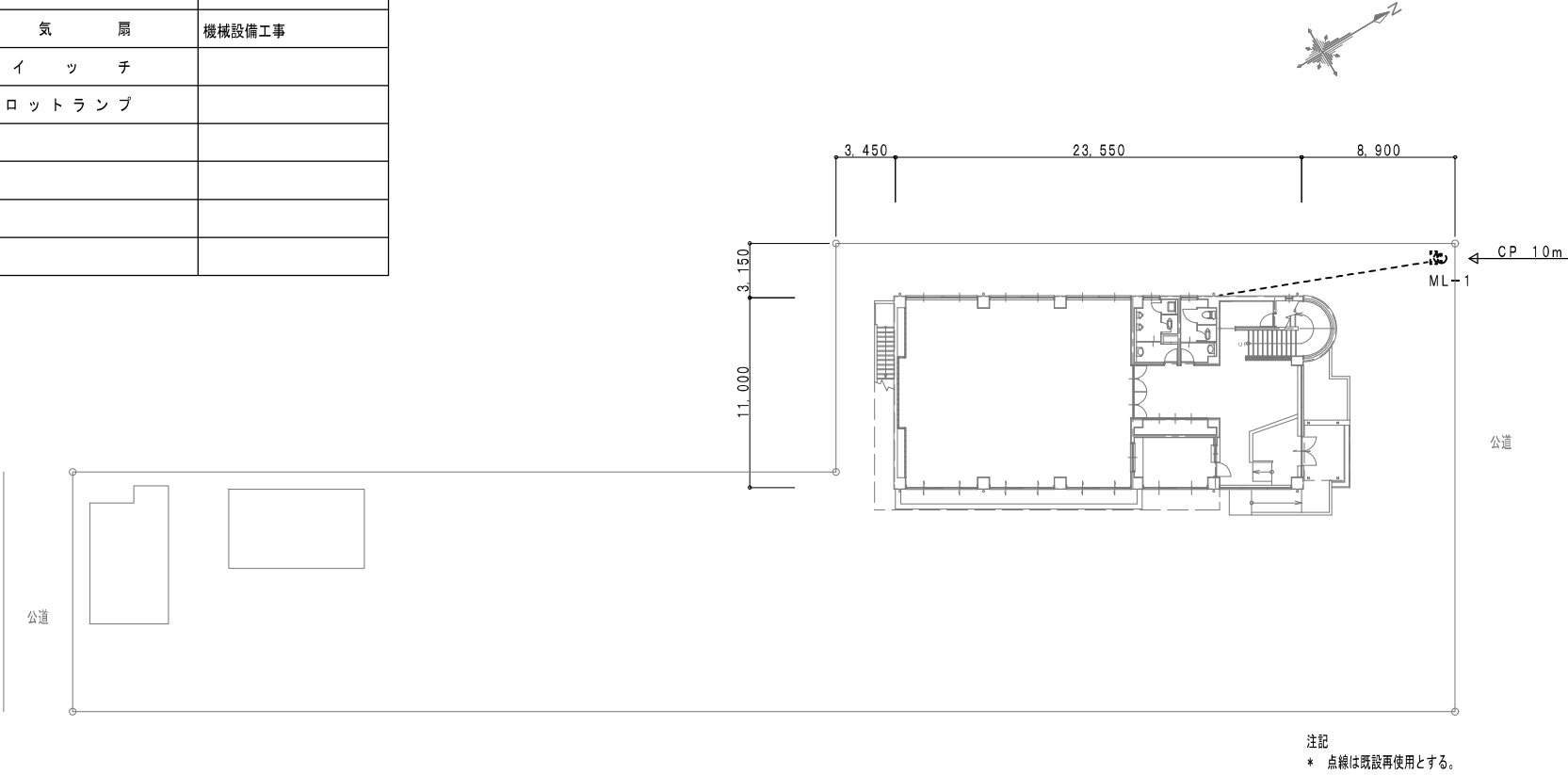
・本工事 ・既設柱利用 ・その他 ()

<

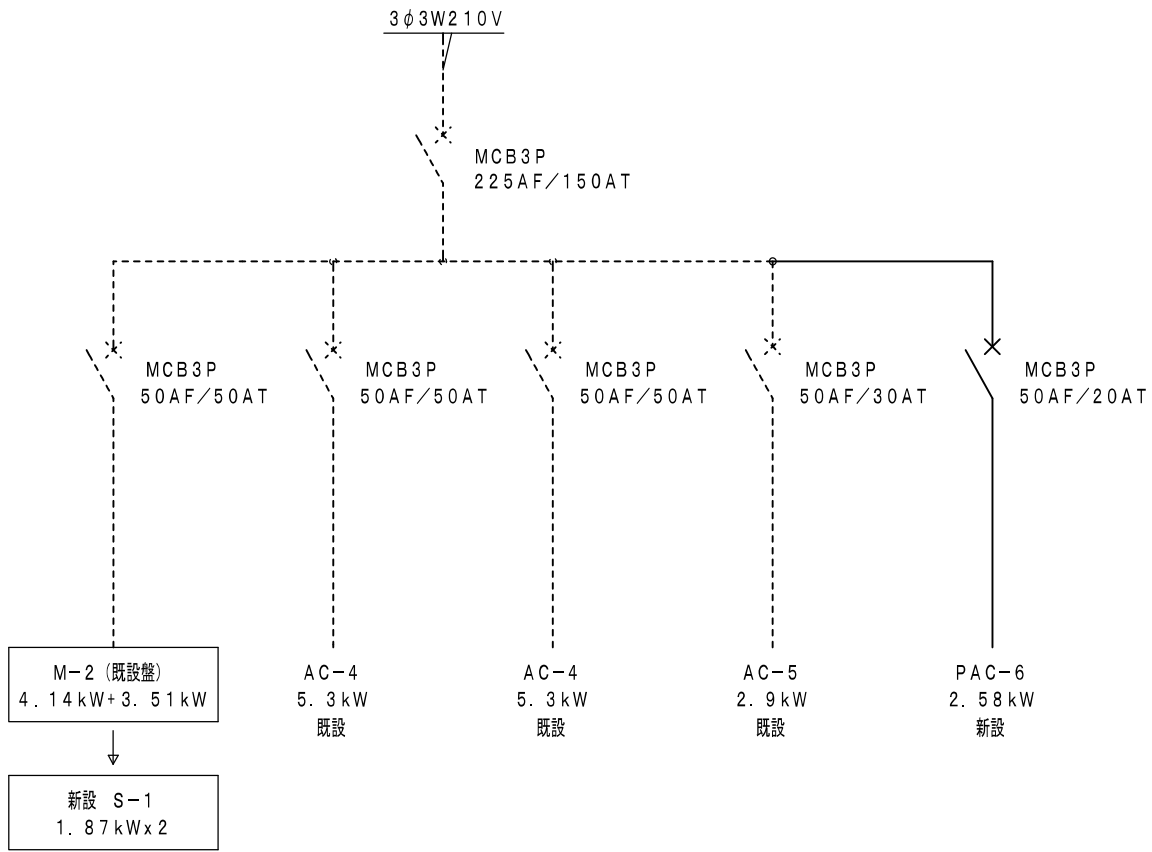
備考		<div><div></div><div><div>(株)田端隆建築設計</div><div>三重県知事登録第1－861　一級建築士 No.352551　田端　進也</div></div></div>	設計代表者		設計担当者				SCALE		工事名称 天神公民館 長寿命化改修工事	E-03
			一級建築士 No.352551 田端進也		一級建築士 No.352551 田端進也				A3			
									DATE			
									R6, 9			
									図面名称 電気設備工事 特記仕様書（3）		原図：A3	

凡 例（改修後）		
記 号	名 称	
	動 力 盤	
	L E D 灯	
	L E D 灯	壁付
	ス ク エ ア ラ イ ト	
	シ ー リ ン グ ラ イ ト	
	コ ー ド ペ ン ダ ン ト	
	ダ ウ ン ラ イ ト	
	ブ ラ ケ ッ ト	
	ス ポ ッ ト ラ イ ト	
	屋 外 灯	
	非 常 灯	
	誘 導 灯	
	換 気 扇	機械設備工事
	人 感 セ ン サ ー	換気扇連動型
	人 感 セ ン サ ー	親機
	人 感 セ ン サ ー	子機
	人 感 セ ン サ ー	換気扇連動型 子機
	センサー用切替スイッチ	2連
	L A N 用 ジャ ッ ク	
	非 常 用 ア ン プ	
	ス ピ ー カ ー	天井埋込型 アッテネーター付
	ス ピ ー カ ー	天井埋込型
	トランペットスピーカー	
	ア ッ テ ネ ー タ ー	
	警 報 表 示 盤	
	コ ー ル 用 押 釦	
	ブ ー ス タ ー	
	直 列 ユ ニ ッ ト	中間
	直 列 ユ ニ ッ ト	端末

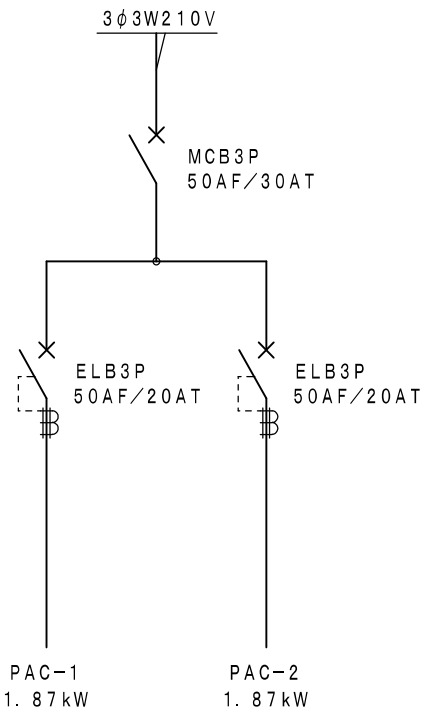
凡 例（改修前）		
記 号	名 称	
	動 力 盤	
	蛍 光 灯	1灯用
	蛍 光 灯	2灯用
	蛍 光 灯	壁付
	ス ク エ ア ラ イ ト	
	シ ー リ ン グ ラ イ ト	
	コ ー ド ペ ン ダ ン ト	
	ダ ウ ン ラ イ ト	
	ブ ラ ケ ッ ト	
	ス ポ ッ ト ラ イ ト	
	屋 外 灯	
	非 常 灯	
	誘 導 灯	
	換 気 扇	機械設備工事
	ス イ ッ チ	
	パイロットランプ	



配置図 S = 1 / 4 0 0


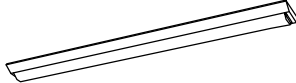

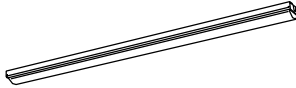
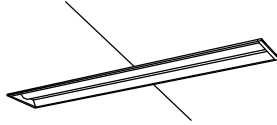
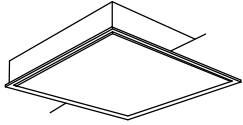
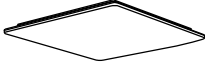
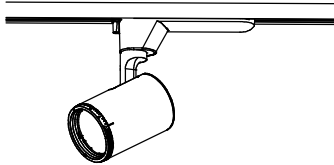
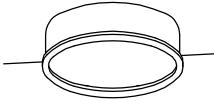
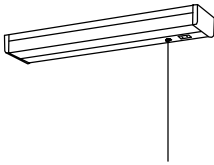

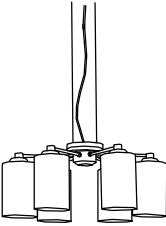
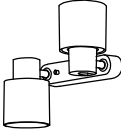
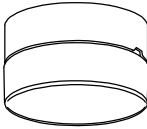
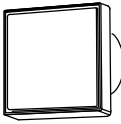






既 設 動 力 盤



S - 1
(SUS・WP)

照 明 器 具 姿 図

(A)	LED直付型20形 W150	(B)	LED直付型40形 W150	(C)	LED直付型40形 W230	(D)	LED直付型40形	(E)	LED埋込型40形 下面開放型 W190
8001m		LSS9-4-23 25001m		52001m		25001m		25001m	
									
パナソニック XLX200AENCLE9		パナソニック XLX420AENPLE9		パナソニック XLX450DENLE9		パナソニック XLX420NENLE9		パナソニック XLX420RENLE9	
(F)	スクエアベースライト 埋込 乳白パネル	(G)	シーリングライト	(H)	スポットライト 100形	(I)	LED丸型ベースライト FHD85形×1灯器具相当	(J)	
132001m		44301m		6001m		φ450			
									
□1250タイプ		□580							
パナソニック NNF45850JLT9		パナソニック LGC45830		パナソニック NTS01004WLE1		パナソニック NNF81600KLT9		パナソニック LGB52097LE1	
(K)	LEDブラケット 15形直管蛍光灯1灯器具相当	(L)	LEDシャンデリア 60形電球6灯器具相当	(M)	LEDスポットライト 100形電球2灯器具相当	(N)	シーリングライト 60形電球1灯器具相当 防雨型	(O)	
8401m		42751m		12901m		4401m		2481m	
									
パナソニック LGB85042LE1		パナソニック LGB19680K		パナソニック XAS3380LCE1		パナソニック XLGE5004CE1		パナソニック LGW80307KLE1	
(P)	エントランスライト 40形電球1灯器具相当 防雨型	(Q)	LEDシーリングライト 100形電球1灯器具相当	(R)	LED非常灯	(S)	LED非常灯		
2951m		人感センサー・明るさセンサ付 防雨型 7801m		φ150		φ200			
									
パナソニック XLGE5034BK		パナソニック LGWC51540LE1		パナソニック NNF891615C 保守率:0.92 K0143780		パナソニック NNF893635C 保守率:0.92 K0143775			
				器具取付高さ		器具取付高さ			
				2.1m 2.4m 2.6m 3.0m 4.0m		2.1m 2.4m 2.6m 3.0m 4.0m 5.0m 6.0m			
				単体配置 A1 4.2 4.6 4.7 4.9 3.3		単体配置 A1 5.4 5.9 6.3 6.9 7.9 8.7 6.4			
				直線配置 A2 9.3 10.2 10.8 11.9 12.9		直線配置 A2 11.3 12.7 13.5 15.2 18.6 21.0 22.8			
				四角配置 A4 7.4 8.2 8.7 9.6 11.7		四角配置 A4 8.5 9.6 10.2 11.6 14.6 17.2 19.4			

注記
※ メーカー名・品番は参考とする。

備考

田端隆建築設計
三重県知事登録第1-861 一般建築士 No.352551 田端 進也

設計代表者

一般建築士
No.352551
田端進也

設計担当者

一般建築士
No.352551
田端進也

SCALE

A3

DATE

R6,9

工事名称

天神公民館 長寿命化改修工事

図面名称

照明器具姿図 (1)

E-06

原図: A3

照 明 器 具 姿 図

[illegible]

撤去 照明器具リスト

記号	名 称	1 F	2 F
(A)	F L 2 0 W x 1 直付 V 型	1	
(B)	F L 4 0 W x 1 直付 V 型	1	1
(C)	F L 4 0 W x 2 直付 V 型	3	1 4
(D)	F L 4 0 W x 1 直付 ト ラ フ		1
(E)	F L 4 0 W x 1 下 面 開 放	2	1
(F)	F L 4 0 W x 6 埋 込 カバ ー 付	9	
(G)	F L 2 0 W x 5 直 付 カバ ー 付		1 2
(H)	ミニハロゲン 8 5 W ダクト用	3	
(I)	F C L 4 0 W x 3 0 W 埋 込 カバ ー 付	8	1 0
(J)	F L 1 5 W x 1 棚 下 用	1	
(K)	F L 1 5 W x 1 ブ ラ ケ ッ ト	2	1
(L)	F L 2 8 W x 4 ペ ン ダ ン ト		2
(M)	F L 3 6 W x 1 ブ ラ ケ ッ ト	3	2
(N)	I L 6 0 W x 1 シ ー リ ン グ	3	5
(O)	I L 6 0 W x 1 ブ ラ ケ ッ ト		1
(P)	F L 1 3 W x 1 ロ ー ボ ー ル ラ イ ト	3	
(Q)	F C L 3 2 W x 1 シ ー リ ン グ	2	
(R)	I L 2 0 W x 1 非 常 灯 埋 込	3	7
(S)	I L 4 0 W x 1 非 常 灯 埋 込	4	3
(T 1)	F L 2 0 W x 1 誘 導 灯 中 型 片 面 非 常 電 源 内 蔵 型	2	1
(T 2)	F L 2 0 W x 1 誘 導 灯 中 型 両 面 非 常 電 源 内 蔵 型		1
(U)	F L 2 0 W x 1 誘 導 灯 中 型 両 面 非 常 電 源 内 蔵 型 矢 印 有		1
(V)	F L 2 0 W x 1 階 段 灯 非 常 電 源 内 蔵 型		2

※ メーカー名・品番は参考とする。

備考



設計代表者

一級建築士
No.352551
田嶋 雅也

設計担当者

一級建築士
No.352551
田端 進也

SCALE

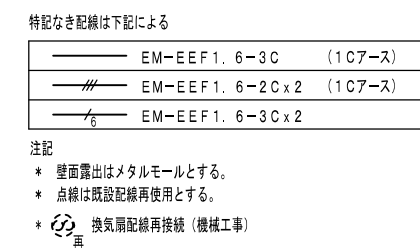
DATE
D 6

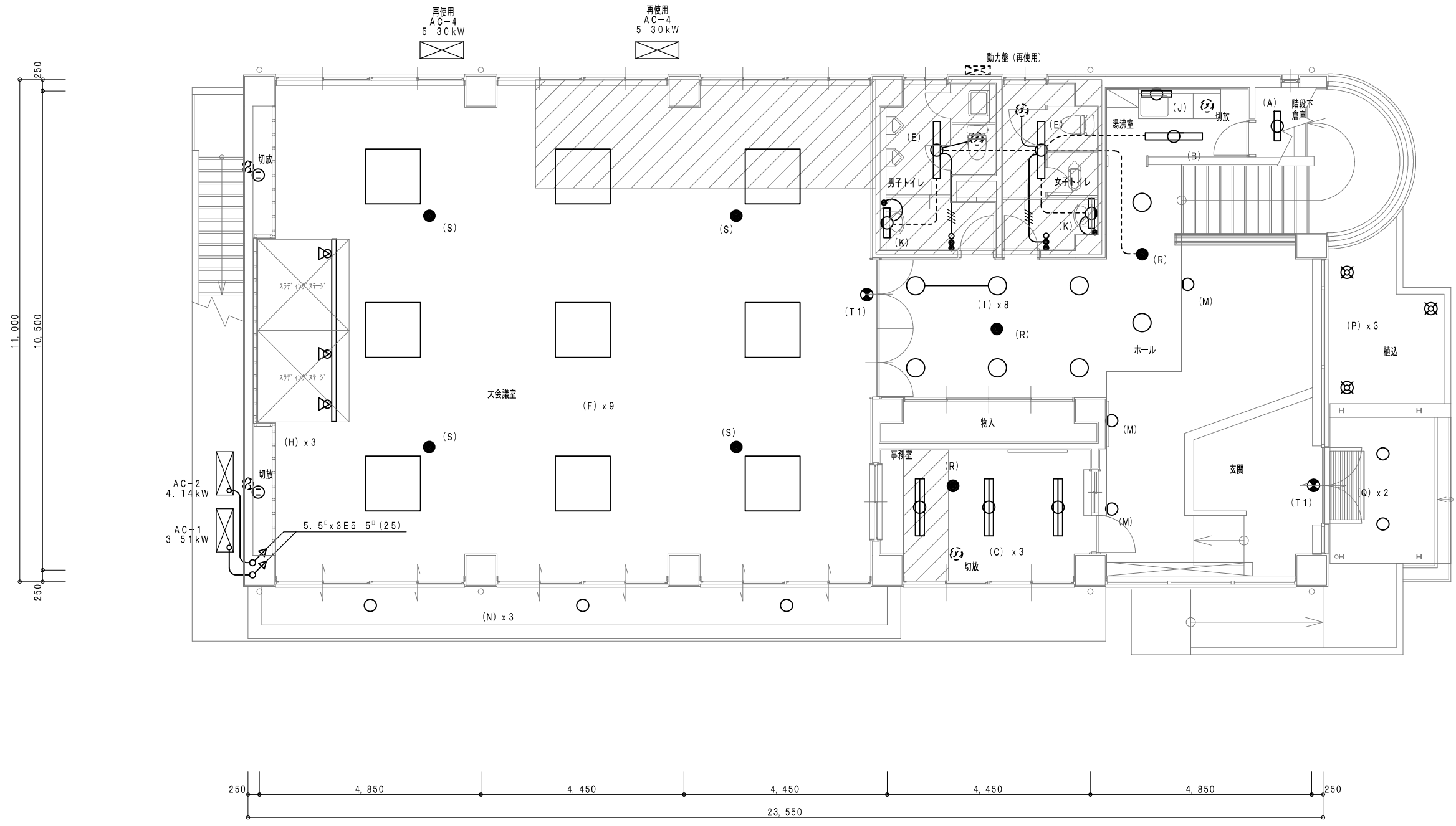
工事名称 天神公民館 長寿命化改修工事

図面名称 照明器具姿図(2)撤去 照明器具リスト

E-07

原因：A3





1 階平面図 S = 1 / 100
(改修前)

特記なき配線は下記による

——	1. 6 x 2 (19)
——	1. 6 x 4 (25)

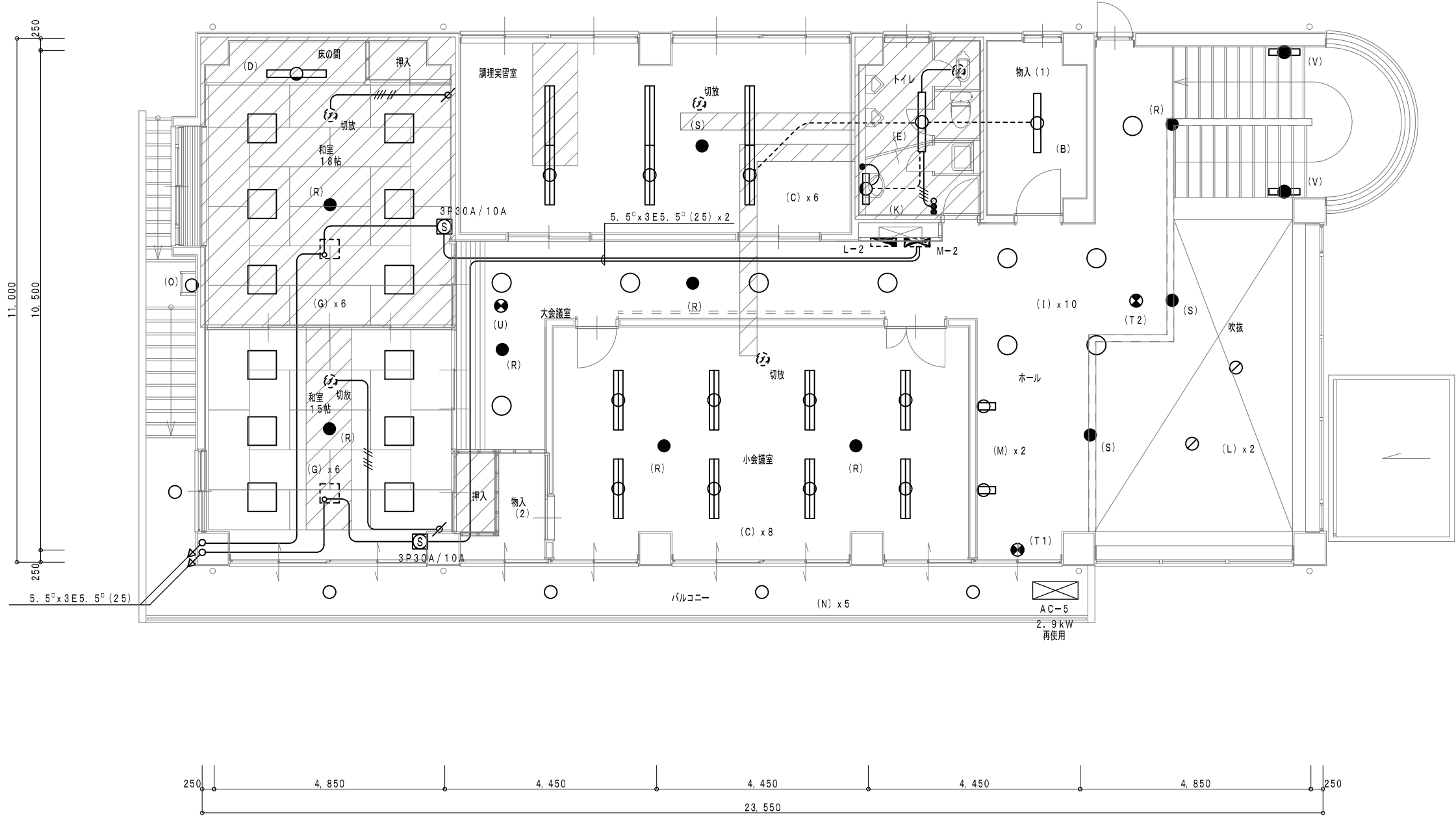
注記

- * 実線の配線・器具は撤去とする。
- * 実線のスイッチは撤去とする。
- * 点線は既設配線再使用する。
- * 換気扇配線切放し (機械工事)
- 切放

天井解体範囲

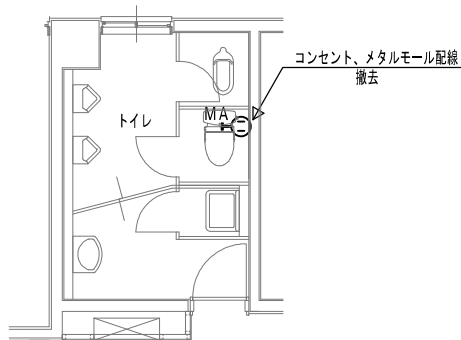
備考					<div>田端隆建築設計</div>				設計代表者		設計担当者				SCALE		工事名称 天神公民館 長寿命化改修工事	E-10
					三重県知事登録第1ー861 一級建築士 No.352551 田端 進也				一級建築士 No.352551 田端進也		一級建築士 No.352551 田端進也		A3 : 1/100					
													DATE					
													R 6, 9					
																図面名称 1階電灯設備図 改修前		原図 : A3

田端隆建築設計
三重県知事登録第1-861 一般建築士 No.352551 田端 進也

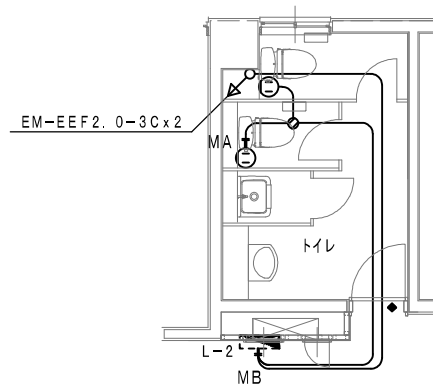


2階平面図 S = 1 / 100
(改修前)

- 特記なき配線は下記による
- | | |
|---|---------------|
| — | 1. 6 x 2 (19) |
| — | 1. 6 x 4 (25) |
| — | 1. 6 x 5 (25) |
- 注記
- * 実線の配線・器具は撤去とする。
 - * 実線のスイッチは撤去とする。
 - * 点線は既設配線再使用する。
 - * 換気扇配線切放し (機械工事)
 - 切放
- 天井解体範囲



2階トイレ詳細図 S=1/100
(改修前)



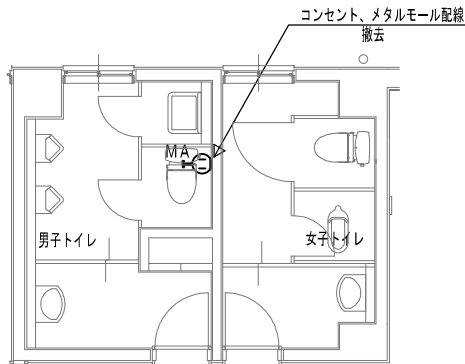
2階トイレ詳細図 S=1/100
(改修後)

特記なき配線は下記による

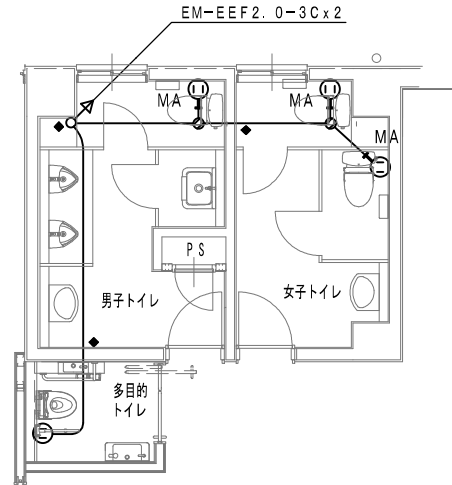
EM-EEF2. 0-3C	(1Cアース)
MA	壁面露出部メタルモール A型
MB	壁面露出部メタルモール B型

注記

- * 既設壁L-2 ヨビ回路x3 使用
- * ◆ ハツリ貫通



1階トイレ詳細図 S=1/100
(改修前)



1階トイレ詳細図 S=1/100
(改修後)

特記なき配線は下記による

EM-EEF2. 0-3C	(1Cアース)
MA	壁面露出部メタルモール A型

注記

- * ◆ ハツリ貫通

放送機器姿図

トイレ呼出機器姿図

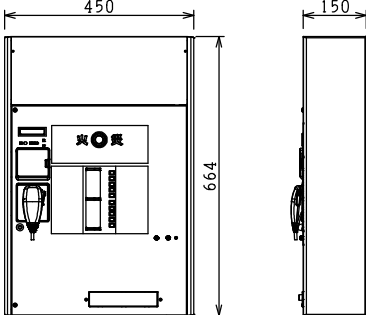
AMP

壁掛形非常用アンプ (10局60W)

450

150

664



CUD認証

電源	AC100V 50/60Hz
音声入力	マイク×2、ライン×3 (マイク/ライン切換含む)、チャイム、外部マイク、BGM、ページング、緊急
リモコン接続	非常リモコン、マルチリモコンマイク、リモコンマイク
局数・回線数	10局・10回線
定格出力	60W
緊急地震放送	地震放送表示、地震放送停止スイッチ
音声警報音源	4ヵ国語「日本語+英語+中国語+韓国語」に対応 各言語64個内蔵 (地下5階~20階、ELV、階段 他)
ファンクションスイッチ	5個:スピーカー回線まとめ/音源再生/外部制御出力
外部制御入力	5回路
プログラムタイマー	週間/特定日スケジュール 9パターン 総計270ステップ
時刻補正入力	NTPサーバー、観時計、接点入力
チャイム音源	3種類:ウエストミンスターの鐘、他2種類
コールサイン	7種類:上り4音2種類、下り4音2種類、他3種類
内蔵メッセージ	緊急放送、業務放送用11種類 放送設備/非常放送点検、地震放送 閉館放送、 停電放送、防犯放送、ラジオ体操第1他
非常電源部	SD/SDHCメモリーカード音源10種類 (WAV)
その他	DC24V ニッケル水素蓄電池 停電緊急・業務放送用蓄電池を組込可能 ネットワークI/Fによる設定・状態モニター可能 総務省消防庁消防予第551号 (サイネージ活用指針) 対応

パナソニック:WK-EK310NT+WU-PK306+WU-EB220 相当品

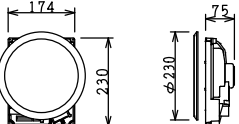
天井埋込型スピーカー

174

230

75

φ230



L級

定格入力	3W (3.3kΩ)、1W (10kΩ)
出力音圧レベル	95dB (1W/1m)
周波数特性	85Hz ~ 15kHz (-20dB)
使用スピーカー	16cmコンスピーカー
仕上げ	本体:ABS樹脂
パネル	ネット:アルミバンチング、枠:ABS樹脂

パナソニック:WS-TN630+WS-6530 相当品

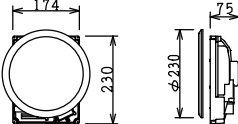
天井埋込型スピーカー AT付

174

230

75

φ230



L級

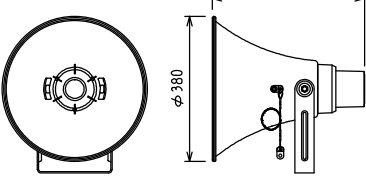
定格入力	3W (3.3kΩ)、1W (10kΩ)
出力音圧レベル	95dB (1W/1m)
周波数特性	85Hz ~ 15kHz (-20dB)
使用スピーカー	16cmコンスピーカー
仕上げ	本体:ABS樹脂
パネル	ネット:アルミバンチング、枠:ABS樹脂
音量調節	4段階

パナソニック:WS-TN635+WS-6530 相当品

トランペットスピーカー

399

φ380



L級

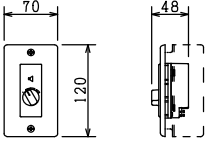
定格入力	15W (670Ω)、10W (1kΩ)、5W (2kΩ)
出力音圧レベル	110dB (1W/1m)
周波数特性	250Hz~6kHz (-20dB)
仕上げ	ホーンマウス:アルミニウム
保護等級	取付金具:SPHC鋼板 溶融亜鉛メッキ IP65 (JIS C 0920)

アッテネーター

70

48

120



S=1/5

入力容量	0.5W~6W
入力インピーダンス	20kΩ~1.67kΩ
音量調整	5段階
パネル	新金属
適合ボックス	JIS1個口用スイッチボックス

コール用プルスイッチ付押ボタン

70

21.5

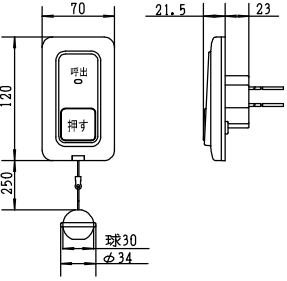
23

120

250

球30

φ34



埋込プルスイッチ付押ボタンスイッチ (ON保持・微小電流対応形)
パイロットランプ・泡沬形プレート・リード線付
12V 30mA
パイロットランプ保護用抵抗器 (約340Ω、1/2W) の取付
参考品番 WS66772

備考

設計代表者

設計担当者

SCALE
A3 : 1/200
DATE
R6, 9

工事名称

図面名称

天神公民館 長寿命化改修工事
弱電機器姿図

E-13
原図: A3

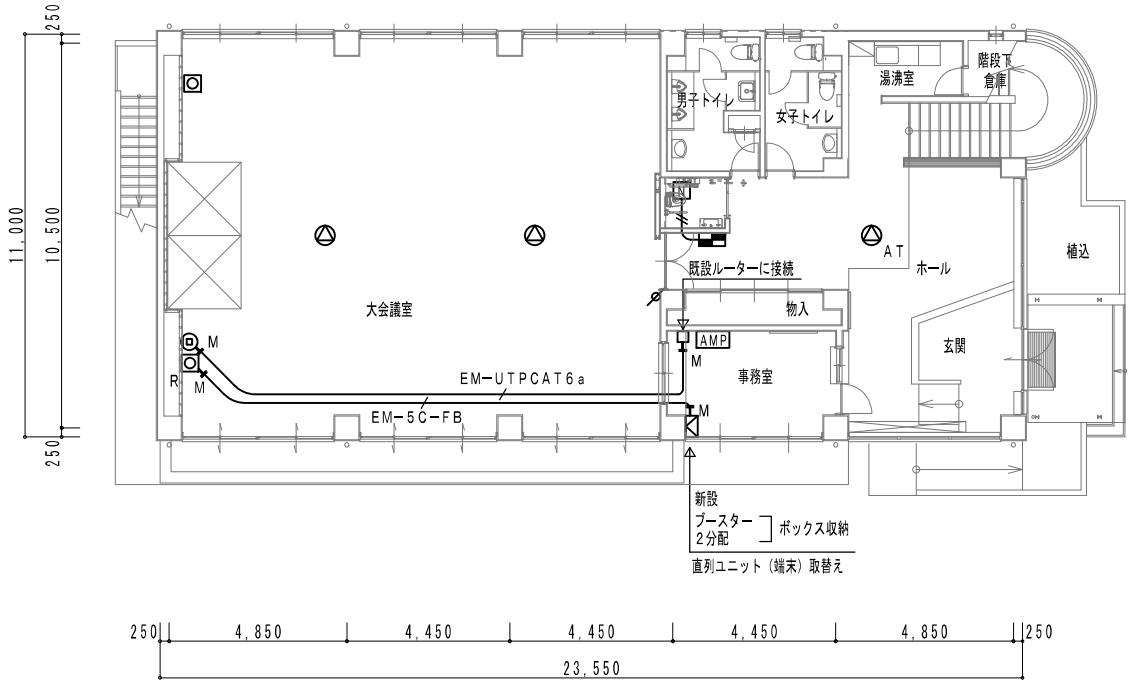
田端隆建築設計

三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.352551 田端 進也

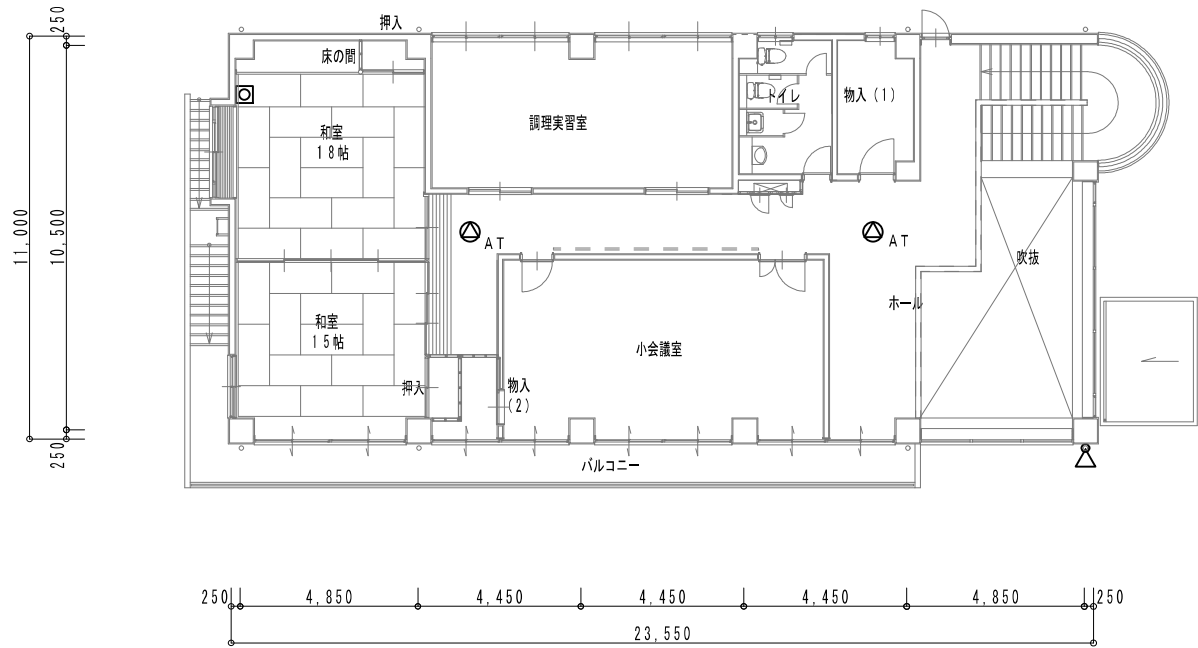
- 直列ユニット 中間 2個更新
- R

直列ユニット 端末 1個更新
- R

直列ユニット 端末 1個新設



1階平面図 S=1／200




2階平面図 S=1／200

特記なき配線は下記による

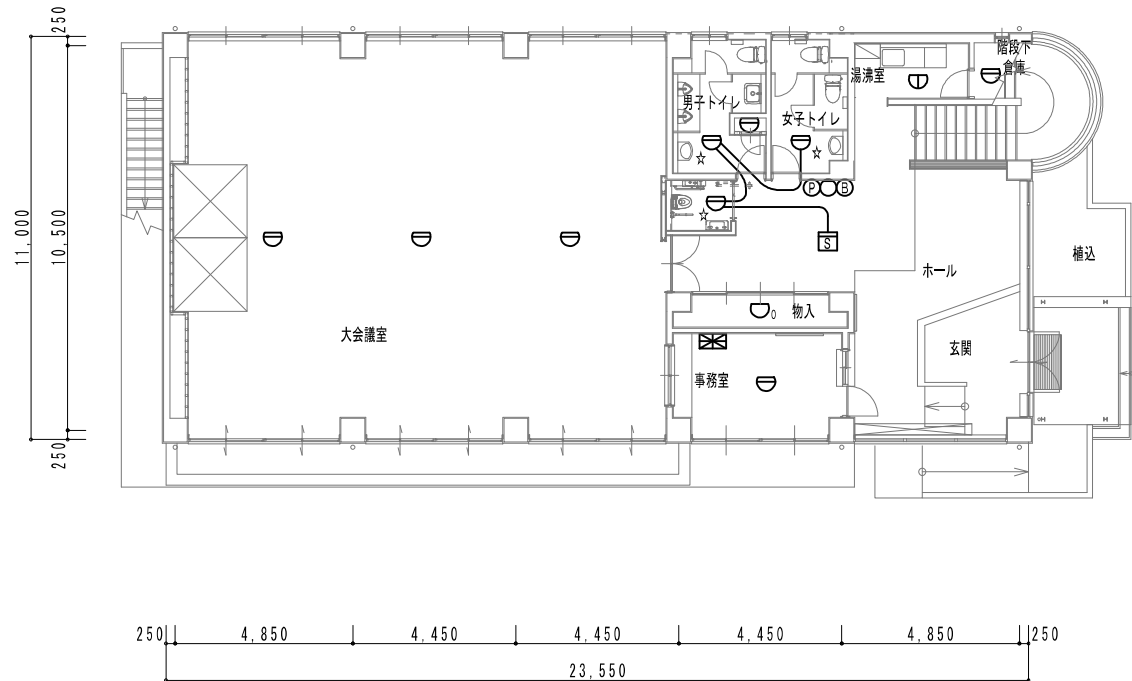
EM-AE1、2-2C

注記

- * 壁面露出はメタルモール工事。
- * 放送機器、TV共聴機器全て更新。

凡 例		
記 号	名 称	
	受 信 機	P-2-3 L
	電 鈴	防水
	電 鈴	150φ
	表 示 灯	
	発 信 器	P-1
	煙 感 知 器	2 種
	差動式スポット型感知器	2 種
	定温式スポット型感知器	防 水
	定温式スポット型感知器	特 種

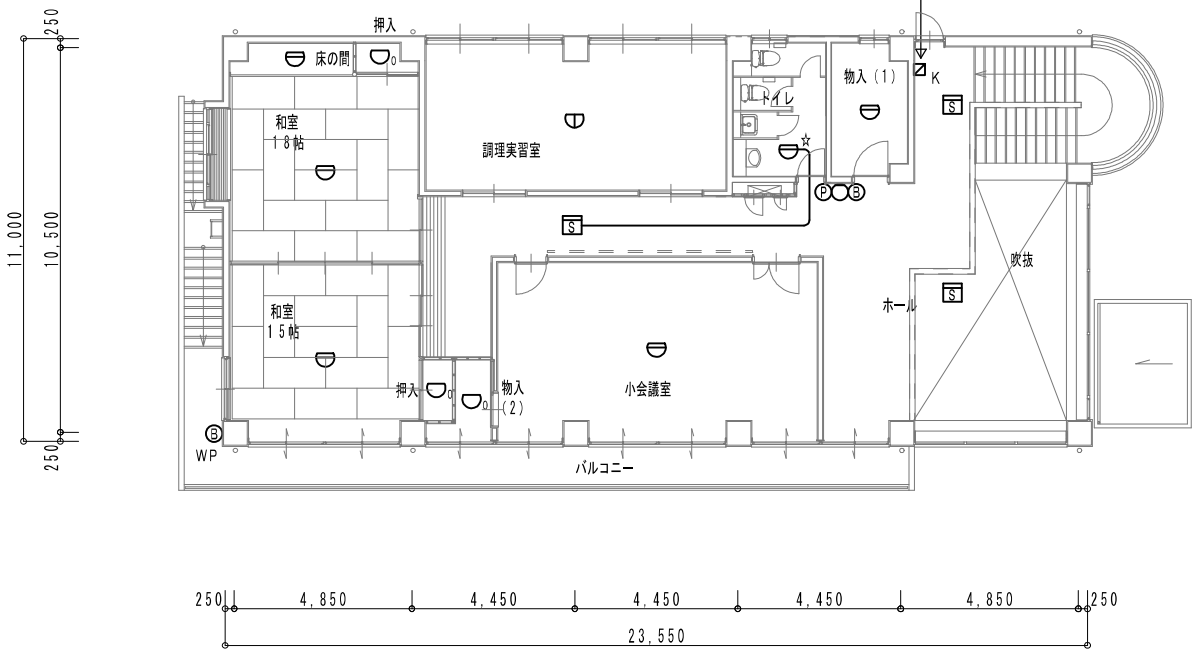
注記
* 火災報知設備機器全て更新。
* ☆ は新設を示す。



1 階平面図 S = 1 / 200

特記なき配線は下記による

EM-AE1.2-4C



2 階平面図 S = 1 / 200

備考

(株)田端隆建築設計
三重県知事登録第1-861 一般建築士 No.352551 田端 進也

設計代表者

一般建築士
No.352551
田端進也

設計担当者

一般建築士
No.352551
田端進也

SCALE

A3 : 1/200

DATE

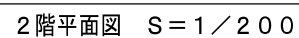
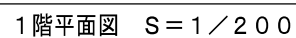
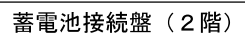
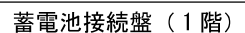
R 6, 9

工事名称 天神公民館 長寿命化改修工事

図面名称 1階・2階 火災報知設備図

E-15

原図 : A3



	EM-EEF1. 6-2C
	EM-EEF1. 6-3C (MA)
	EM-EEF1. 6-2C x 2 (MB)
	壁面露出メタルモール (A型)